

建築物排出量削減計画書

(宛 先) 京 都 市 長	令和4年 11月 30日
住 所 (法人にあっては, 主たる事務所の所在地) 大阪府摂津市千里丘4丁目9番13号	氏名 (法人にあっては, 名称及び代表名) 株式会社アトリョウ建設 代表取締役 畑中 良輔

京都市地球温暖化対策条例 ☒ 第 4 9 条第 1 項 ☐ 第 4 9 条第 3 項 ☐ 第 5 2 条第 1 項 ☐ 第 5 2 条第 2 項において準用する同条例第 4 9 条第 3 項 の規定により提出します。				
工 事 の 種 別		☒ 新築 ☐ 増築		
工事着工予定年月日		令和 5 年 1 月 2 5 日		
工事完了予定年月日		令和 6 年 1 月 2 5 日		
建築物 の概要	名 称	株式会社アトリョウ建設様 共同住宅新築工事		
	所 在 地	京都市南区吉祥院向田東町4		
	構 造	R C 造	階 数	地 上 6 階 地 下 0 階
	敷 地 面 積	9 9 4 . 4 0 平方メートル	高 さ	1 7 . 3 1 メートル
	建 築 面 積	4 4 5 . 7 6 平方メートル	床 面 積 の 合 計 (1 棟増築の場合の 増築部分の床面積)	2 0 7 6 . 1 7 平方メート 平方メール)
	用途別の床 面積	住 宅	2 0 7 6 . 1 7 平方メートル	
		ホ テ ル 等		
		病 院 等		
		物品販売業を営む 店舗等		
		事 務 所 等		
		学 校 等		
		飲 食 店 等		
集 会 所 等				
工 場 等				
建築環境総合性能評価システムによる評価の結果		0.9B ⁻		
設計者の住所及び氏名の公表について		☒ 公表可 ☐ 公表不可		

温室効果ガスの排出の量の削減を図るために実施する措置	概要
■ 外 壁 ， 屋 根 又 は 床 の 断 熱	屋根：押出法 ^ホ ポリエチレンフォーム3種 t=40 外壁：硬質発泡ウレタン吹付A種1H 床：押出法 ^ホ ポリエチレンフォーム3種 t=35
■ 窓 の 断 熱 又 は 日 射 の 遮 蔽	LOW-E5 ペアガラスサッシ
■ エネルギー消費効率の高い設備の導入	LED照明器具 潜熱回収型ガス給湯機器
■ 再 生 可 能 エ ネ ル ギ ー の 利 用	太陽光発電
■ 環 境 へ の 負 荷 が 少 な い 材 料 の 利 用	住戸内装材F☆☆☆☆の使用 ノンフロン断熱材の使用
■ 地 域 産 木 材 の 利 用	内壁下地材を京都府産の木材を使用
□ 節 水 型 設 備 の 設 置	
□ 雨 水 ， 雑 排 水 等 の 利 用	
□ 耐用年数が長い材料及び設備の利用	
□ 建築物の維持管理の容易性に対する配慮	
□ 緑 化 の 実 施	
□ 電気自動車等の充電設備の設置	
■ 宅 配 ボ ッ ク ス の 設 置	設置する
□ 代替フロン由来の温室効果ガス排出削減	
□ そ の 他	

注1 該当する□には、レ印を記入してください。

2 この計画書には、温室効果ガスの排出の量の削減を図るために実施しようとする措置の内容が分かる書類を添付してください。

3 この計画書は、建築物の棟ごとに作成してください。(敷地内増築、棟別新築の場合は、新築の扱いとなります)